



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第502号

2021年4月26日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

新型コロナ対策で市長に緊急の申し入れ

大阪では、新型コロナの変異種が猛威を振るい、感染者が連日1000人を超え、重症患者用ベッドが不足する事態となっており、「医療崩壊」寸前ともいわれています。

こういう中、25日から5月11日まで、東京・大阪など4都府県に緊急事態宣言が出され、千葉県では、八千代市を含む12市に、「まん延防止等重点措置」が発出されました。「専門家会議」の尾身会長は、第4波と言っているのに、政府は認めようとはしません。

日本共産党は、PCR検査の拡充、医療機関への支援、中小業者などへの再度の持続化給付金・家賃補助給付金の支給など求めてきました。

いま、自粛を余儀なくされている市民の命と健康、暮らしを守るのは八千代市の役割です。八千代市として独自の支援策を講じるよう、4月13日、服部市長に対し、6回目の申し入れを行いました。

以下、5点について緊急要望書を提出しました。



1. ワクチン接種と並行してPCR検査の拡充で、感染拡大を抑え込むこと
高齢者施設や障害者施設、学校、保育園などで働く方々及び入所者に定期的なPCR検査と希望する市民のPCR検査費用の補助を行ってください。
2. こまめな情報発信で、ワクチン接種が受けられるようにすること
集団接種とともに、個別接種などワクチンに関する情報発信について、ホームページだけでなく、臨時の広報「やちよ」の発行、回覧板など紙媒体の活用をお願いします。
3. 中小企業経営者などに再度、市の独自の給付を行うこと
1年以上にわたって自粛を強いられたことにより、事業継続に不安を抱えています。市独自の支援策として再度、給付金を支給してください。
4. 保育園や教育現場で、密を避けるためにも少人数で行えるように
保育士や教師を増やして、密を避ける取り組みをしてください。さらに、衛生や清掃など、職員を補充して、保育士や教師の負担を減らしてください。
5. 市の責任で、生理用品の無料配布を行うこと。
女性の貧困が浮き彫りになり、国での予算化が決まりました。早急に、市独自の対策を立て実行してください。

尚、ワクチン接種の予約開始日は、5月6日（木）となっています。